

『学校の木のしおり』と『樹木名プレート』を寄贈しています!!

①学校の木のしおりの特徴

- 学校にある樹木の中から **8 樹種を選定いただく**だけで、当財団にてしおりを作成・送付します。
- 樹木の写真や解説等の観察の視点は、**当財団が無償で提供します**(学校側の大きな負担はありません)。
- **校庭の樹木**を使った自然観察などの教育活動で活用いただくことができます。

何故いま『しおり』なのか？

新型コロナウイルスの影響により、大勢が集まる活動の自粛が余儀なくされる状況の中で3密を避けつつ、校庭の樹木を使った自然観察を行うことができる「学校の木のしおり」をオススメしています！

②しおり活用により得られるメリット

- ☑ 「**屋外**」での活動が中心で、かつ**校庭**での**身近な樹木**の**自然観察**が可能！
 - ☑ **在校生全員分**の作成・送付が可能！(例):1校平均300名+50部(先生分等)
 - ☑ 活動参加校には「**森林を愛する人づくり事業 協力校 記念プレート**」を贈呈！(※①画像参照)
- ⇒SDGs達成に貢献する**ESD**(Education for Sustainable Development)を推進している『**ESD活動支援センター**』の後援活動として取組んでいただくことができます！(※②画像参照)

<本体>



<表面>



<裏面>



<※①記念プレートの贈呈>



<※②ESD活動支援センター>



※環境省および文部科学省が開設

校庭の樹木に**更に興味・関心**を持った児童・生徒は…

『樹木名プレート』を活用！

※1校当上限：50枚

- 自分達で作成した樹木名プレートを設置することで、**身近な自然への関心や探究的な学習意欲**をはぐくむことに繋がります。
- 「理科」や「総合的な学習の時間」、「生活科」、「樹木に関係のある委員会活動や部活動」など、**様々な場面で活用**することができます。
- プレートの作成には「ニッセイの森」で採れた間伐材を利用しています。



<プレート作成見本>

③しおりの活用事例 ～参加校からの感想文～

2019年度より提供を開始した『学校の木のしおり』ですが、これまで多くの学校にご活用いただいております。学年や科目を限定せず、各学校の自由な活用方法で、校庭の樹木に親しむ活動として取組んでいただいております。代表的な活用方法は以下の通りです！

【A校】：全校集会の場で校長先生より披露していただき、**4～6年生は理科の授業で、他学年の児童の皆さんには休み時間等**での自然観察に活用しました。

【B校】：全校集会で校長先生より披露していただきました。**2年生は生活科の授業**でしおりを見ながら樹木を観察し、**特別支援学級ではウォークラリー**で活用しました。活動を通じて、児童たちの校内の樹木への関心を高めることができました。しおりは学校では作成できないものなので今後の活動の参考にもなりました。

【C校】：全校朝礼でしおりの紹介をし、**1～2年生は生活科、3年生以上は理科の時間**に校庭でしおりに掲載している木を見つけ、それぞれの樹木の特徴を確認しました。**樹木の特徴がとてもわかりやすく**示しており、児童たちが容易に実物の樹木を見つけることが出来ました。

【D校】：全校集会で**飼育委員**の皆さんから「木のしおり」を活用して、学校に植えてある樹木の説明をしていただきました。その結果、**運動場で遊ぶ児童が樹木に関心**を持ってくれるようになりました。今後、**低学年の児童向けの授業でも活用したい**です。

【E校】：当初は、木のしおりを活用し5年生のみで自然観察を行う予定でしたが、**児童間で話が広がり、全校児童で活用**しました。新型コロナウイルスの影響で、しばらく学校が臨時休校となっていましたが、修了式に久々に友達に会えたことで、**とても温かい雰囲気のもと活動を行うことができました**。

【G校】：卒業式予行練習後の時間に、**6年生に感謝の気持ちを込めて在校生からのプレゼント**としてしおりを渡しました。他学年はクラス単位で休み時間等を利用して、観察会を行いました。

■しおりを使った各校の取組みの様子(活用校提供写真)

